国土交通省

記者発表資料

平成２９年３月３１日

国土交通省
東北地方整備局　福島河川国道事務所　郡山国道事務所
磐城国道事務所　三春ダム管理所
摺上川ダム管理所　小名浜港湾事務所
北陸地方整備局　阿賀川河川事務所

福島県内の東北・北陸地方整備局関係 平成２９年度事業概要について

福島県内において国土交通省の実施する事業に関する
平成２９年度の事業概要についてお知らせします。

〈予算のポイント〉

「東日本大震災からの復興・創生」、「国民の安全・安心の確保」、「生産性向上による成長力の強化」に重点的に取り組み、『元気で明るい東北』の実現を目指します。

○　東日本大震災からの復興に向けて、道路、河川、港湾等基幹インフラの整備を着実に推進します。また、大震災の教訓伝承と風化防止への取り組みを推進します。

○　激甚化する水害・土砂災害等に備えるため、防災意識社会への転換を図りつつ、ハード・ソフトを総動員した防災・減災対策を推進します。
また、加速するインフラの老朽化への対策を推進します。

○　国際交流・連携活動を強化する道路ネットワークや港湾など、ストック効果を重視した生産性向上に寄与する社会資本整備を推進します。
また、社会資本整備と一体となった観光支援を推進します。

○　ICT活用による建設現場の生産性向上や、業務の効率化など、建設業の担い手確保に向けた「東北復興働き方改革プロジェクト」を推進します。

〈平成２９年度　福島県内直轄事業当初予算〉　　（単位：百万円）

事業区分		Ｈ２９年度予算	Ｈ２８年度予算（参考）
河川関係事業費	国交省計上分	３，０６３	３，３９１
	(参考)復興庁計上分	０	０
	計	３，０６３	３，３９１
道路関係事業費	国交省計上分	１５，３２６	１４，３０９
	(参考)復興庁計上分	３９，０７７	２６，０８１
	計	５４，４０３	４０，３９０
港湾関係事業費	国交省計上分	０	０
	(参考)復興庁計上分	９，６９２	９，８９９
	計	９，６９２	９，８９９

※本表の他に、災害復旧費(港湾関係)として2,366百万円がある。
※上記金額は、工事関係費(業務取扱費は除く)で記載。
※上記金額は、維持修繕関係事業費を除く金額で記載。

〈発表記者クラブ〉
○福島県政記者クラブ　○福島市政記者クラブ　○郡山記者クラブ
○会津若松市記者クラブ　○いわき記者会　○いわき記者クラブ
○いわき市ふるさと発信課　○南相馬市役所記者クラブ

【問い合わせ先】

◎国土交通省 東北地方整備局

○福島河川国道事務所　TEL 024-546-4331
副所長（河川）　佐藤（さとう） 勝美（かつみ）　（内線204）
副所長（道路）　佐野（さの） 智樹（ともき）　（内線205）

○郡山国道事務所　TEL 024-946-0333
副所長（改築）　中村（なかむら） 幹男（みきお）　（内線204）
副所長（管理）　松前（まつまえ） 好則（よしのり）　（内線205）

○磐城国道事務所　TEL 0246-23-2211
副所長（改築）　石井（いしい） 重好（しげよし）　（内線204）
副所長（管理）　佐藤（さとう） 実（みのる）　（内線205）

○三春ダム管理所　TEL 0247-62-3145
所長　芦萱（あしかや） 昌弘（まさひろ）　（内線201）

○摺上川ダム管理所　TEL 024-596-1275
所長　森（もり） 禎一（ていいち）　（内線201）

○小名浜港湾事務所　TEL 0246-53-7100
副所長　下澤（しもざわ） 治（おさむ）　（内線302）
企画調整課長　小野寺（おのでら） 美昭（よしあき）　（内線331）

◎国土交通省 北陸地方整備局

○阿賀川河川事務所　TEL 0242-26-6441
副所長　見田（みた） 弘幸（ひろゆき）　（内線204）

【平成29年度　福島県内　主要事業一覧】

事業区分		事業名	市町村名	H29事業費（百万円）	H29事業内容	頁
●新規事業箇所						
道路	直轄	国道6号　福島6号交通安全対策（林城交差点改良）	いわき市	12	調査設計	
道路	直轄	国道13号　福島13号交通安全対策 （南沢又地区交差点改良）	福島市	12	調査設計	
道路	直轄	国道49号　福島49号電線共同溝（会津若松地区）	会津若松市	40	調査設計	
●完成・開通予定事業						
河川	直轄	阿武隈川上流　河川改修事業（伏黒地区）	伊達市	（1,634）	浸透対策	P5
道路	直轄	東北中央自動車道　福島～米沢	福島市～米沢市	10,505	全線2車線開通 改良・舗装工事	P6
道路	直轄	★　（路線名：東北中央自動車道） 国道115号　相馬福島道路（霊山道路）	伊達市	6,098	全線2車線開通 改良・舗装工事	P7
道路	直轄	★（路線名：東北中央自動車道） 国道115号　相馬福島道路（阿武隈東～阿武隈）	相馬市～伊達市	5,206	全線2車線開通 改良・橋梁・舗装工事	P7
道路	直轄	国道6号　常磐バイパス	いわき市	2,700	全線2車線開通 改良・橋梁・舗装工事	P8
道路	直轄	町道沼尾線　沼尾シェッド修繕代行事業	南会津群 下郷町	190	調査設計・修繕工事	P9
道路	直轄	国道49号　福島49号交通安全対策（古町川尻地区事故対策）	河沼郡 会津坂下町	12	改良・舗装工事	
●主要継続事業						
河川	直轄	阿武隈川上流　河川改修事業 （本宮左岸地区）（浜尾遊水地）	本宮市、 須賀川市	（1,634）	（本宮） 築堤、樋門、橋梁架替、用地取得 （浜尾） 遊水地内掘削	P10 P11
河川	直轄	阿武隈川上流　本宮地区かわまちづくり	本宮市	20	管理用階段等	P10
河川 （砂防）	直轄	阿武隈川水系直轄砂防事業（塩の川第7砂防堰堤）	福島市	（775）	砂防堰堤工	P11
河川	直轄	阿賀川下流狭窄部改修（長井地区）	喜多方市	（620）	河道掘削 法面対策	P12
河川	直轄	阿賀川河川改修事業（宮古地区）	河沼郡 会津坂下町		築堤	
河川	直轄	阿賀川河川改修事業（青津地区浸透対策）	河沼郡 会津坂下町		浸透対策工	
道路	直轄	国道121号　湯野上バイパス	南会津群 下郷町	705	調査設計、用地補償、橋梁工事、トンネル着手	P13
道路	直轄	国道4号　鏡石拡幅	岩瀬郡 鏡石町	769	調査設計、用地補償、舗装工事	

※　★の事業は、復興庁からの配分事業である。
※　事業費の（　）の金額は、当該河川・水系・山系全体の事業費

事業区分		事業名	市町村名	H29事業費（百万円）	H29事業内容	頁
●主要継続事業						
道路	直轄	国道4号　伊達拡幅	伊達市～伊達郡国見町	835	調査設計、用地補償、改良・橋梁・舗装工事	
道路	直轄	国道6号　勿来バイパス	いわき市	100	調査設計、用地補償着手	P13
道路	直轄	国道13号　福島西道路(Ⅱ期)	福島市	708	調査設計、用地補償、改良工事	
道路	直轄	★（路線名：東北中央自動車道） 国道115号　相馬福島道路(相馬～相馬西)	相馬市	8,111	調査設計、用地補償、改良・橋梁・トンネル・舗装工事	P14
道路	直轄	★（路線名：東北中央自動車道） 国道115号　相馬福島道路(霊山～福島)	伊達市～伊達郡桑折町	12,996	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事	
道路	直轄	★ 国道399号　十文字改良	いわき市	4,706	調査設計、用地補償、改良・トンネル工事	P14
道路	直轄	★ 県道吉間田滝根線　広瀬改良	いわき市～田村市	1,960	調査設計、用地補償、改良・橋梁工事、トンネル着手	P15
道路	直轄	国道４９号　福島４９号交通安全対策 （喜久田地区交差点改良）	郡山市	48	用地補償、改良工事	P15
道路	直轄	国道4号　福島4号電線共同溝(入江町地区)	福島市	196	支障物移設、本体工事	P16
港湾	直轄	★ 相馬港　3号ふ頭地区　国際物流ターミナル(耐震)整備事業	相馬市 相馬郡新地町	800	上部工、消波工	
港湾	直轄	★ 小名浜港　東港地区　国際物流ターミナル整備事業	いわき市	8,892	岸壁本体工、浚渫工	P16

※ ★の事業は、復興庁からの配分事業である。

※ 事業費の（ ）の金額は、当該河川・水系・山系全体の事業費

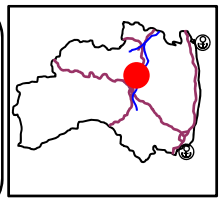
阿武隈川上流　河川改修事業（伏黒地区）

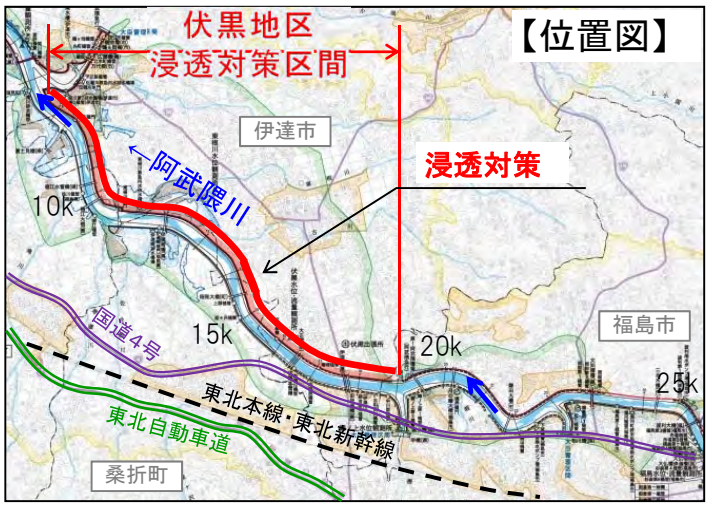
H29：1,634百万円※

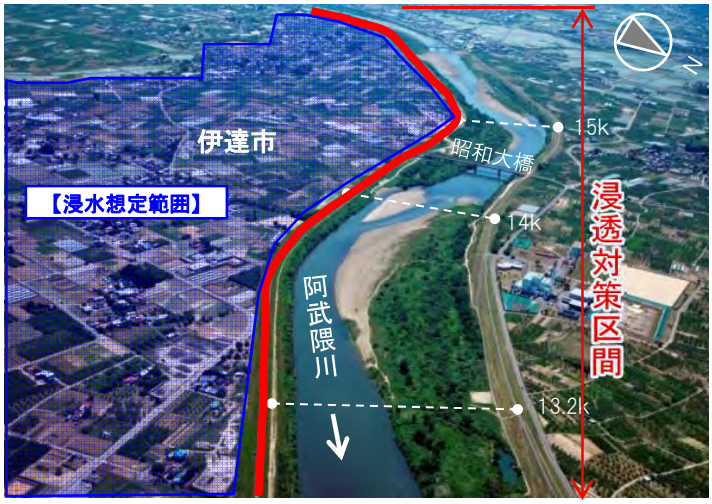
完成	福島県伊達市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
平成27年9月の関東・東北豪雨を受け策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組の一環として、緊急的に浸透対策を実施します。



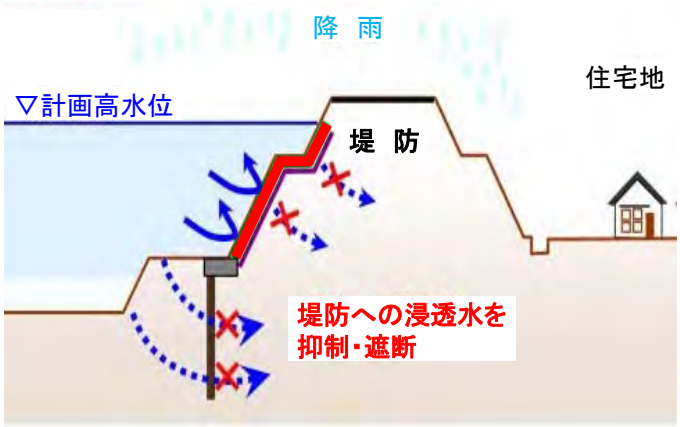




【整備効果】
堤防の浸透対策を実施することにより、堤防決壊時に想定される約5,800戸の浸水被害を防止します。



▲工事の進捗状況



▲浸透対策イメージ図

【平成29年度の事業内容】
浸透対策を実施し、当該地区の事業を完成させます。

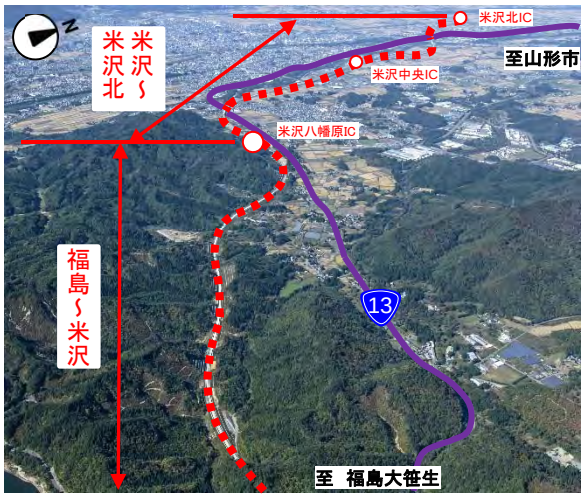
東北中央自動車道（福島～米沢、米沢～米沢北）

		福島～米沢　H29：10,505百万円 （福島県側　H29：6,870百万円）	
		米沢～米沢北　H29：1,685百万円	
開通	福島県福島市～山形県米沢市	道路	直轄

【事業の概要】
東北中央自動車道（福島～米沢、米沢～米沢北）は、東北中央自動車道の一部を形成し、災害時における代替え路線の確保、交通障害の解消を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。



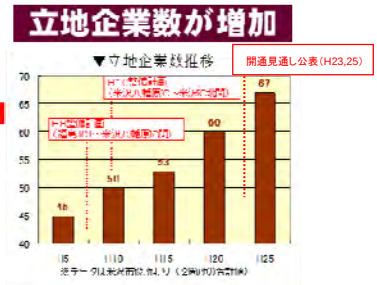




【整備効果】
○大雨などの災害により国道13号が通行止めとなった場合でも、緊急輸送道路として信頼性の高いネットワークが確保されます。
○所要時間が大幅に短縮され、地域間の連携・交通ネットワークが広がることにより、置賜地域経済の活性化を支援します。

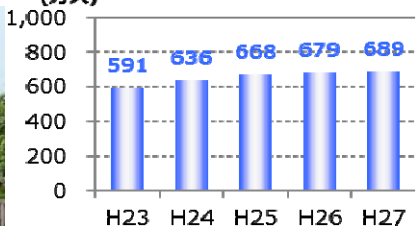







松が岬公園/米沢市

※第3期米沢市観光計画（H29.3）

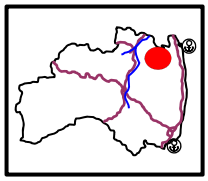


▲山形県置賜地域観光入込者数の推移（H23～H27）資料：山形県観光者数調査

【平成29年度の事業内容】
全線開通へ向け、改良工事及び舗装工事等を実施します。

（路線名：東北中央自動車道） 国道115号　相馬福島道路（阿武隈東～阿武隈、霊山道路）		阿武隈～阿武隈東　H29：5,206百万円 霊山道路　H29：6,098百万円	
開通	福島県相馬市～伊達市	道路	直轄

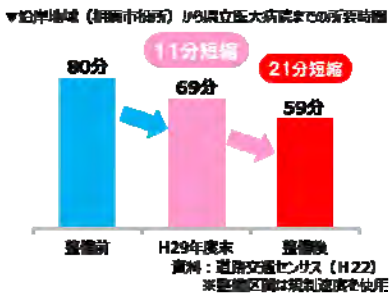
【事業の概要】
相馬福島道路（阿武隈東～阿武隈、霊山道路）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。





【整備効果】
○大雨などの災害により国道115号が通行止めとなった場合でも、緊急輸送道路として信頼性の高いネットワークが確保されます。
○救急医療施設への搬送時に、急カーブや急勾配の回避により、患者への負担が軽減されます。

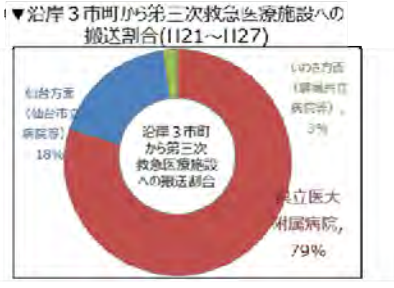




▼沿岸３市町から第３次救急医療施設への搬送件数（H21～H27）

全搬送件数：773/7年
うち、福島方面　609件
うち、仙台方面　139件
うち、いわき方面　20件

資料：相馬地方広域消防本部



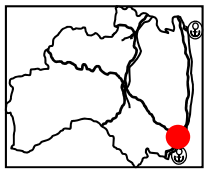
【平成29年度の事業内容】
全線2車線開通へ向け、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を実施します。

国道6号　常磐バイパス

H29：2,700百万円

開通	福島県いわき市	道路	直轄

【事業の概要】
常磐バイパスは、重要港湾「小名浜港」との交通連携及び国道6号のいわき市内及び周辺部の交通混雑の緩和を目的とした、4車線拡幅事業です。







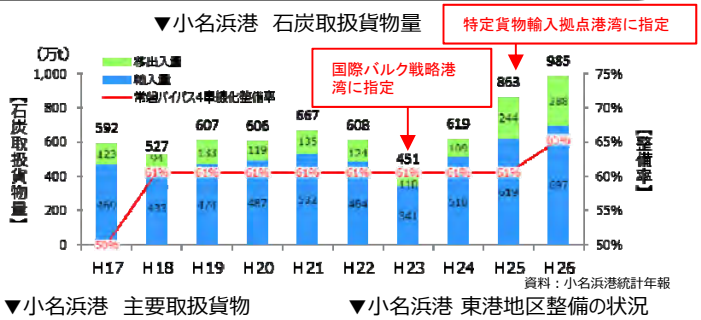
【整備効果】
〇特定貨物輸入拠点港湾（石炭）に指定されている小名浜港から火力発電所への輸送において、常磐バイパスが利用されています。
〇バイパス整備とともに、小名浜港では陸送を行う石炭の取扱量が増加傾向です。
〇全線4車線化に伴い、小名浜港へのアクセス性の更なる向上が期待されます。

▼いわき市の工業団地及び工場増新設箇所



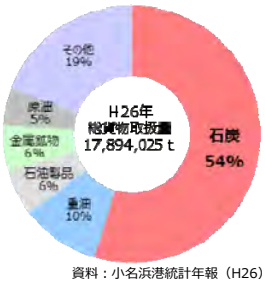
資料：福島県商工労働部企業立地課

▼小名浜港　石炭取扱貨物量



資料：小名浜港統計年報

▼小名浜港　主要取扱貨物



資料：小名浜港統計年報（H26）

▼小名浜港 東港地区整備の状況



【平成29年度の事業内容】
全線4車線開通に向けて、改良工事、橋梁工事、舗装工事等を実施します。

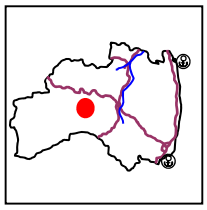
町道沼尾線（ぬまお）　沼尾（ぬまお）シェッド修繕代行事業

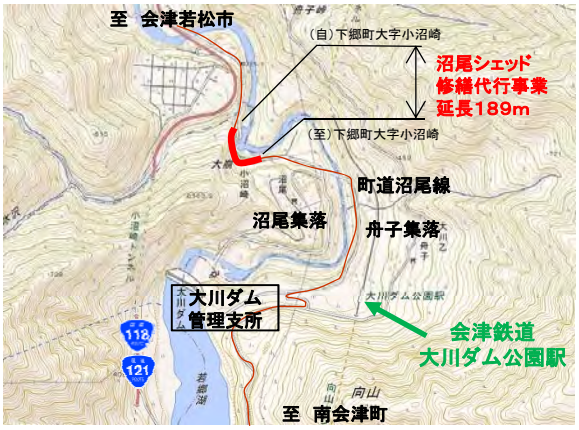
H29：190百万円

完成	福島県南会津郡下郷町（みなみあいづ　しもごうまち）	道路	直轄

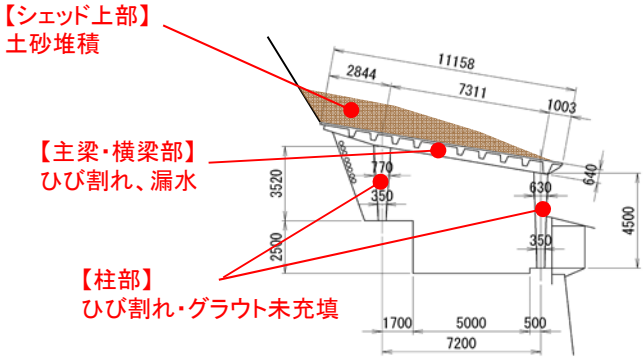
【事業の概要】

沼尾（ぬまお）シェッドは下郷町（しもごうまち）が管理する町道沼尾（ぬまお）線に設置されているシェッドであり、シェッド上部に設計値を超える土砂の堆積が見られる状況の中、主梁・横梁・支柱部等のひびわれ、漏水、グラウト未充填などの損傷が直轄診断において確認された。補修には高度な専門知識等を要することから、国による修繕代行事業として保全対策を行うものです。





※シェッドとは：鉄筋コンクリート部材等で道路を覆い、落石・雪崩等から道路交通や施設を防護する構造物



▲シェッド標準断面図

【整備効果】

○保全対策の実施により、施設の健全度の確保や延命化を図り、安全かつ円滑な車両の通行を確保します。







▲沼尾シェッド　全景



▲グラウト未充填状況



▲損傷状況

【平成29年度の事業内容】 調査設計、修繕工事等を実施します。

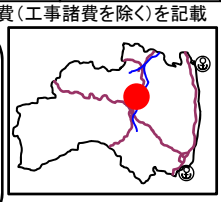
阿武隈川上流 河川改修事業(本宮左岸地区)

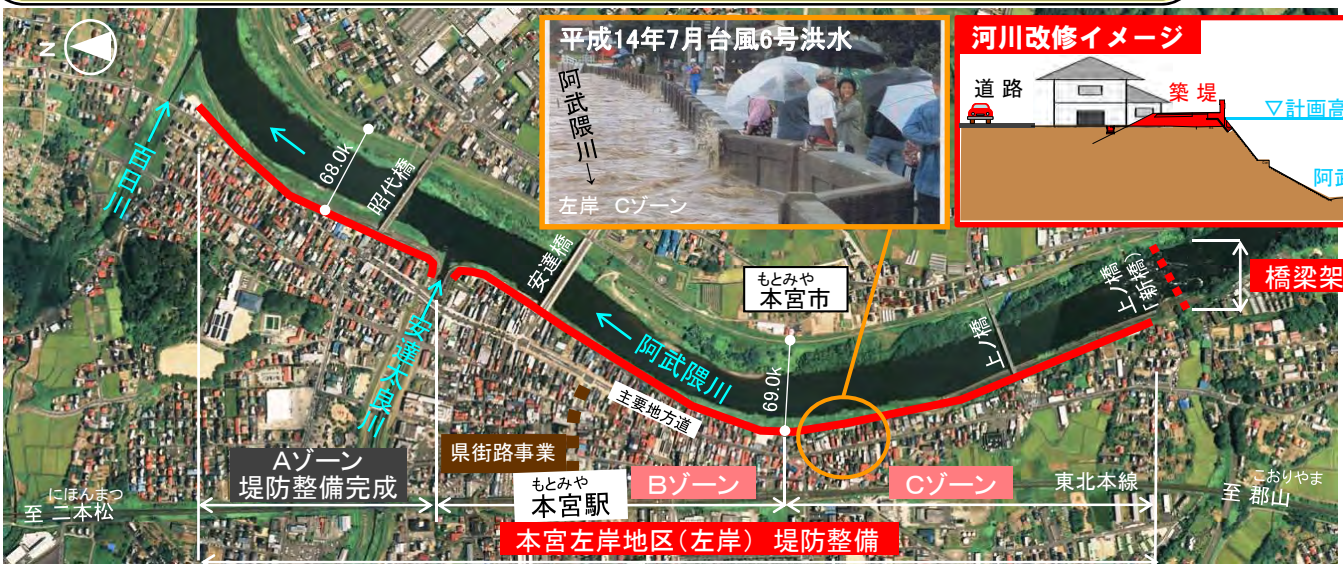
H29：1,634百万円※	
完成予定：H30年代	

継続	福島県本宮市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
・本宮左岸地区は、堤防の高さが計画より低く、これまで度々浸水被害を受けてきたことから、築堤により浸水被害の解消を図ります。
・平成29年度は、築堤、樋門、橋梁架替及び用地取得を実施します。



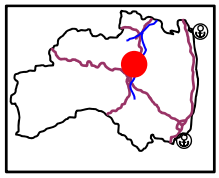


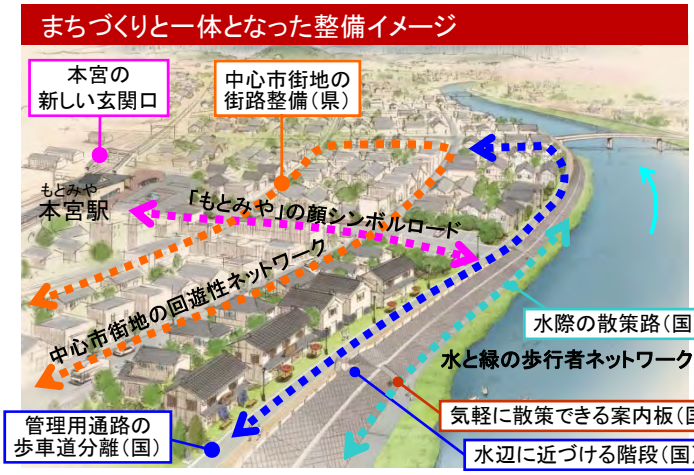
阿武隈川上流 本宮地区かわまちづくり

H29：20百万円	
完成予定：H36	

継続	福島県本宮市	河川	直轄

【事業の概要】
・本宮地区は、住宅や商店が密集する本宮市の中心市街地が存在していることから、堤防整備やまちづくりと連携して、かわまちづくりを展開していきます。
・平成29年度は、「まちとかわの連絡路（階段）」を整備します。





▲ 河川改修事業・かわまちづくりイメージ



▲ 一部完成した堤防と階段整備イメージ

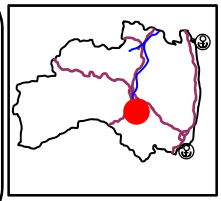
阿武隈川上流　河川改修事業（浜尾遊水地）

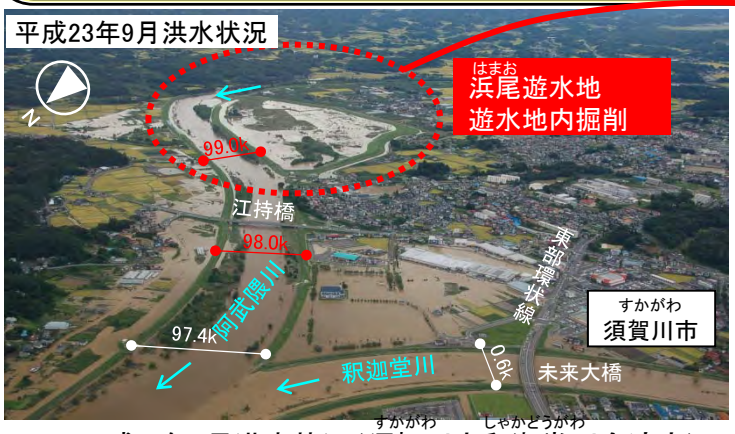
H29：1,634百万円※
完成予定：H30

継続	福島県須賀川市	河川	直轄

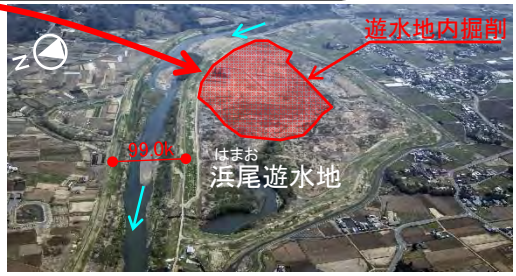
※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

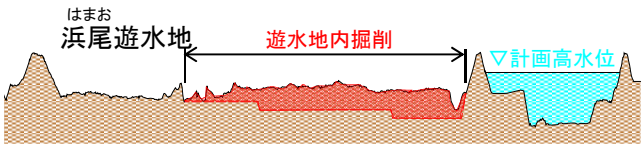
【事業の概要】
平成23年9月洪水では、資産・家屋が集中する郡山・須賀川市街地区間において、計画高水位を超えて浸水被害が発生したことから、浜尾遊水地の洪水調節容量を拡大（掘削）し、下流市街地部の浸水被害を軽減します。





▲　平成23年9月洪水状況（須賀川市釈迦堂川合流点）





▲　遊水地内 掘削のイメージ

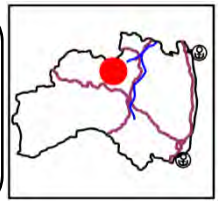
阿武隈川水系直轄砂防事業　塩の川第7砂防堰堤

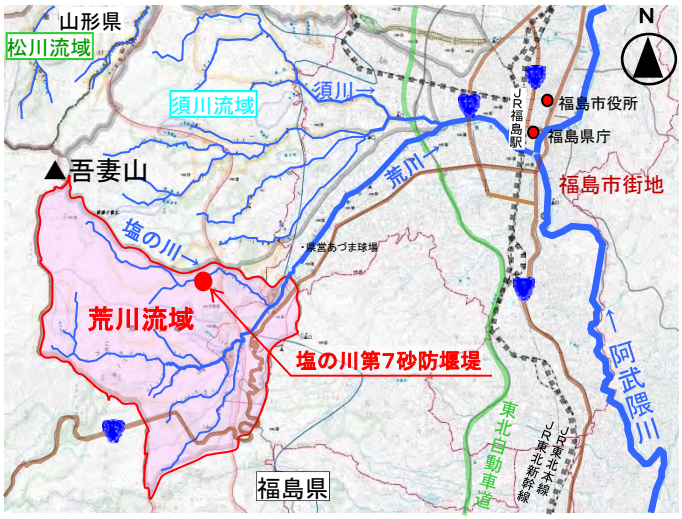
H29：775百万円※
完成予定：H30

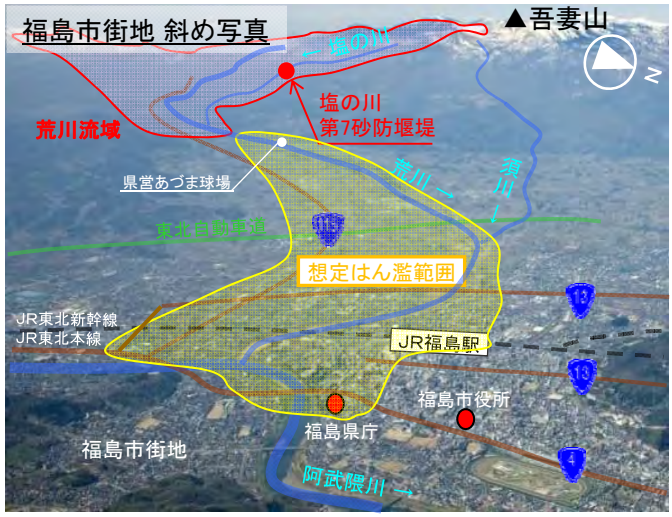
継続	福島県福島市	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該水系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
・荒廃が著しい塩の川において、下流への土砂流出による被害を軽減します。
・平成29年度は、砂防堰堤の整備を実施します。







阿賀川（あがかわ）　河川改修事業（下流狭窄部改修（長井（ながい）地区））

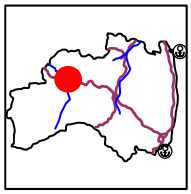
H29:620百万円※

完成予定H30年代

継続	福島県喜多方（きたかた）市	河川	直轄

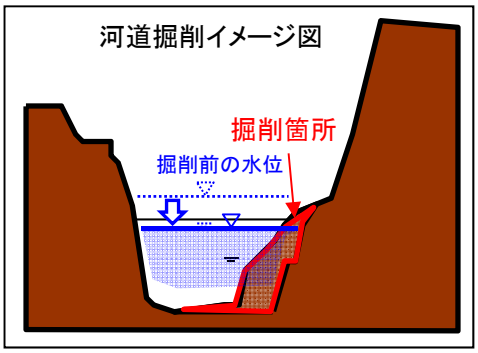
※上記の事業費は当該水系の福島県分の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿賀川下流部は川幅が狭い狭窄部のため、洪水時に狭窄部上流で水位がせき上がり、水害発生の原因となっています。このため、狭窄部上流の水位せき上げの解消を目的として、継続して河道掘削を実施します。





河道掘削により狭窄部上流の水位低下を図り、治水安全度を向上させます。



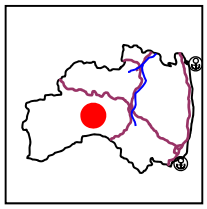
国道121号　湯野上（ゆのかみ）バイパス

H29：705百万円

開通予定：ー

継続	福島県南会津郡下郷町（みなみあいづ　しもごうまち）	道路	直轄

湯野上（ゆのかみ）バイパスは、会津（あいづ）縦貫南道路の一部区間を形成する事業であり、防災・災害時の救急活動支援、高次医療施設へのアクセス性向上を目的とした地域高規格道路です。







▲現道の落石状況

湯野上バイパスの整備により、落石等の通行止め回避、隘路解消により安全・安心な交通を確保します。

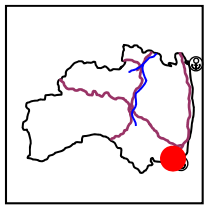
国道6号　勿来（なこそ）バイパス

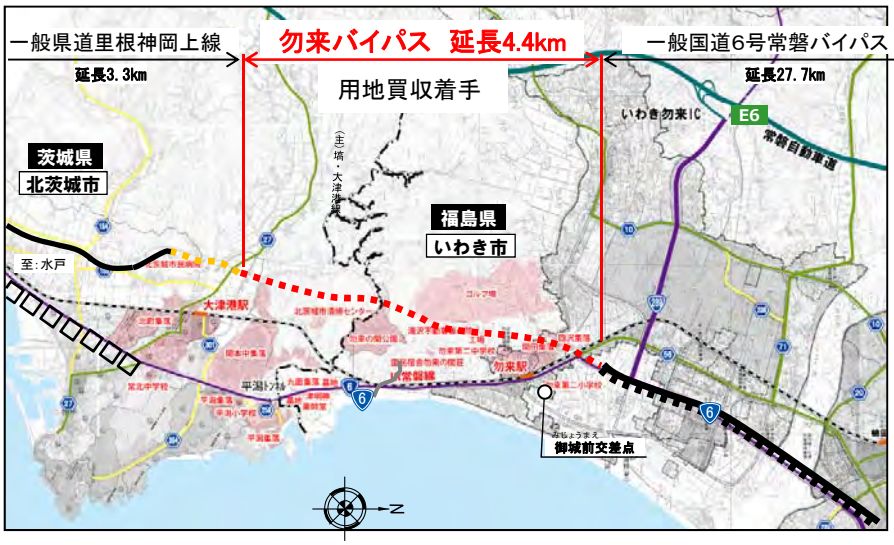
H29：100百万円

開通予定：ー

継続	茨城県北茨城市（きたいばらきし）～福島県いわき市（ふくしま）	道路	直轄

勿来（なこそ）バイパスは、国道6号の茨城（いばらき）・福島（ふくしま）県境における津波浸水区間の回避と渋滞緩和等を目的とする道路です。







▲国道6号（御城前（みじょうまえ）交差点付近）の渋滞状況

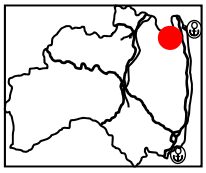
勿来バイパスの整備により、津波浸水等の災害リスクを回避するネットワークが確保できます。

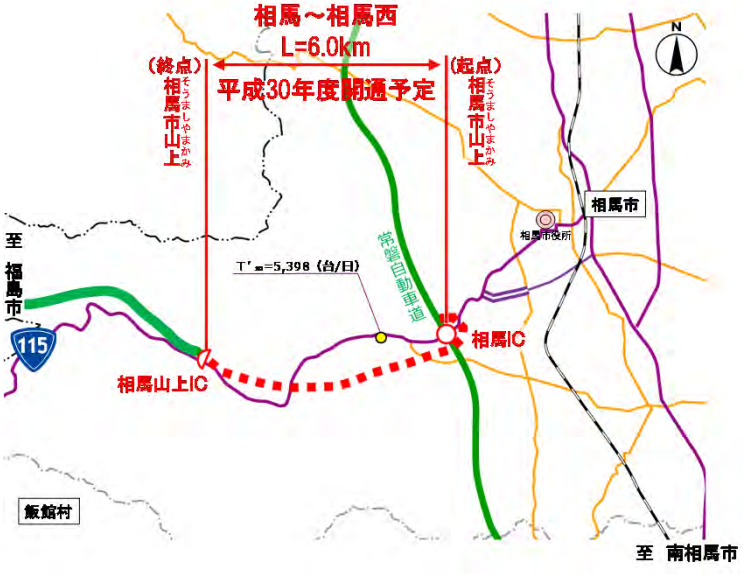
（路線名：東北中央自動車道）
国道115号　相馬福島道路（相馬～相馬西）

H29：8,111百万円
開通予定：H30

継続	福島県相馬市	道路	直轄

相馬福島道路（相馬～相馬西）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







▲整備状況

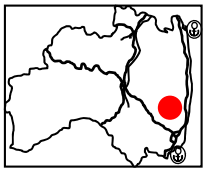
相馬福島道路（相馬～相馬西）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における代替路の確保が図られます。

国道399号　十文字改良

H29：4,706百万円
開通予定：ー

継続	福島県いわき市	道路	直轄

十文字改良は、国道399号の事前通行規制区間や防災危険箇所、未改良区間の回避により、住民生活等における定時性や速達性の確保を目的とする防災事業ですが、改築規模が大きく、長大トンネルの施工を要し、高度な専門技術を必要とすることから、国による代行事業として整備するものです。







▲幅員狭小・線形不良状況

凡　例

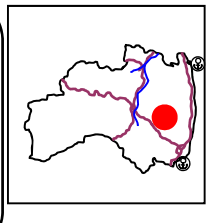
対象区間		曲線半径（R≦30m）	
一般国道		緩断勾配（i＞8.0%）	
一般都道府県道		幅員（W＞5.5m）	
トンネル構造		防災点検要対策箇所	
橋梁構造			

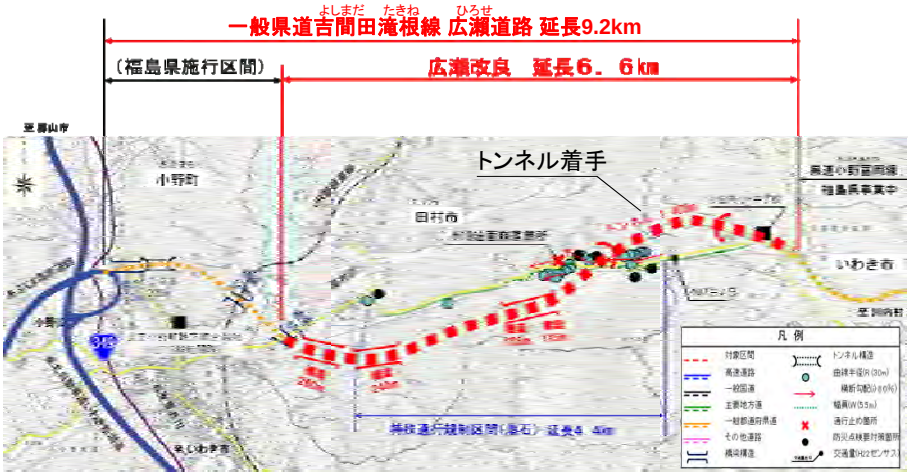
県道吉間田滝根線　広瀬改良

H29：1,960百万円
開通予定：ー

継続	福島県いわき市～田村市	道路	直轄

広瀬改良は、県道吉間田滝根線の特殊通行規制区間や防災危険箇所、未改良区間の回避により、住民生活等における定時性や速達性の確保を目的とする防災事業ですが、改築規模が大きく、トンネルや長大橋の施工を要し、高度な専門技術を必要とすることから、国による代行事業として整備するものです。







▲幅員狭小状況

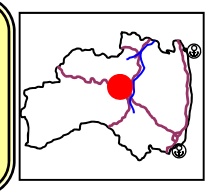
広瀬改良の整備により、幅員狭小区間などの未改良区間を回避することで安心・安全な交通が確保されます。

国道49号　福島49号交通安全対策（喜久田地区交差点改良）

H29：48百万円
開通予定：ー

継続	福島県郡山市	道路	直轄

喜久田地区交差点改良は右折車線が無く、右折待ち車両に直進車両が追突する事故が発生しているため、右折車線を新設し交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。







▲右折車両により直進車両の交通が阻害

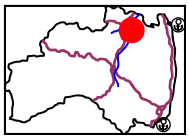
交差点改良により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

国道4号　福島4号電線共同溝（入江町地区）

H29：196百万円
開通予定：ー

継続	福島県福島市	道路	直轄

入江町地区電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化をすることで、震災時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。





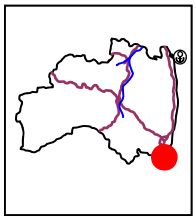


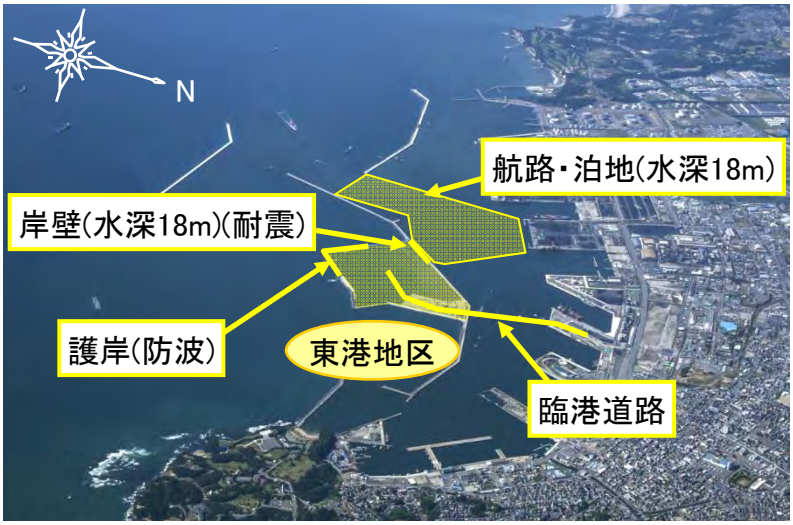
小名浜港　東港地区　国際物流ターミナル整備事業

H29：8,892百万円
完成予定：H30

継続	福島県いわき市	港湾	直轄

資源・エネルギー等の広域的かつ効率的な海上輸送ネットワークの拠点として、大型輸送船に対応した国際物流ターミナルを整備します。また、耐震強化岸壁を整備することにより、大規模災害時にも物流機能を維持し、産業活動を支援します。







▲東港地区の整備状況